

「2つの発生メカニズムによる巨大地震」に 備える徳島を訪ねて

～海溝型地震(南海トラフ)と直下型地震(中央構造線活断層)に対する取り組み～

開催日：2024年(令和6年)11月14日(木)～15日(金)

視察先：徳島大学環境防災研究センター、徳島県立防災センター

防災研究部門	環境研究部門	災害医療研究部門
危機管理研究部門	研究部門〔4部門〕	
 徳島大学環境防災研究センター  Research Center for Management of Disaster and Environment, Tokushima University		
事業内容〔15事業〕		
四国防災・危機管理プログラム	BCP(事業継続)・レジリエンス	防災士養成講座
徳島川流域フィールド講座	災害調査	環境防災カフェ
スタジアム防災プロジェクト	徳島県地域継続推進協議会	地域防災力強化事業
尾崎港・尾崎運河の環境再生	徳島災害時対応研究会	次世代災害情報システムの開発と吉野川市における実証
四国防災八十八話	大学BCP・防災	FM徳島の防災カフェ

徳島大学環境防災研究センターの事業内容(HPを一部加工)
年間を通じ地域社会に向けた多様な取り組み・イベントを推進



(左) 地域で伝承される防災八十八話を四県それぞれで発行
(右) エフエム徳島が発行する市民向け小冊子の制作協力



ご登壇の順に、理工学部 橋本教授(①)、環境防災研究センター
上月(こうづき)教授(②)、蔣(じゃん)教授(③)、湯浅講師(④)



徳島大学環境防災研究センター(建設棟)前にて
挨拶・ご講演いただいた3氏を囲み 参加者全員で記念撮影



徳島県危機管理部 防災人材育成センター 長江係長による
徳島県立防災センター(消防学校と併設)での講演状況



受講後に同センター内の学習・体験施設を見学
この日も小学生など多くの団体が県内外から訪れていた